



発行所
公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会
〒700-0807
岡山市北区南方2丁目13-1
きらめきプラザ
e-mail: info@okasinren.or.jp
TEL 岡山 (086) 223-4562
振替口座 01260-9-5818
発行人 藤田 勉
編集人 井上 浩二
1部90円
年額郵送料共 1,000円



共生社会の構築に向けて

公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会
会長 藤田 勉

新年あけましておめでとうございます。平素から連合会の運営につきましても格別のご協力ご支援を賜りありがとうございます。昨年4月、障害を理由とする差別の解消を推進するため「障害者差別解消法」が施行されました。法律の実効性を高める観点から「障害者差別解消条例」の早期制定が待たれる

ところで、昨年は私達の岡山県身体障害者福祉連合会に新しい大きな動きがありました。岡山県身体障害者相談員協議会の役員が新しくなりましたことです。長らく皆様に支えられた私藤田が引退し、新たに倉敷の藤原智之さんが会長を引き受けてくれました。長年共に相談員協議会を支えて下



すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」を目指して

岡山県知事 伊原木 隆太

新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり、皆さまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年行われた知事選挙におきまして、皆さまのご信任をいただき、引き続き県政を担わせていただくこととなりました。我が国は、少子化が急速に進み、人口減少問題の克服が喫緊の課題となっております。本県においても、おこやま創生の実現に向け、総力を挙げて取り組まなければなら

「スピード感」の3つの視点に立ち、前例踏襲を是としない県政運営に努め、「教育県岡

memo
投稿のお願い
毎月5日発行「はばたき」への投稿をお願いします。締切日は、前月の10日とさせていただきます。

この「はばたき」は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

さり、その見識の高さや行動力は衆人が認めるところであります。昨年11月の県相談員研修会に於いても、自分の経験を大切にして自分の実情を話して、一般市民に理解してもらうことが「共生の社会」実現の基礎となること、相談員は自分たちの組織・団体と一体となって進むべきこと、基本方針を述べられました。

来年、中四国身体障害者福祉大会が岡山県の当番で開催されま



流れを一層加速させるため、「教育県岡山の復活」と「産業の振興」を本県発展の好循環のエンジンに、若い世代の結婚から子育てまで切れ目ない支援や移住・定住策の推進、医療・福祉サービスの充実など、成果が実感でき

また、人口減少問題を克服し、将来にわたって持続的に発展していく、活気あふれる力強い県となるためには、新しい時代の潮流や変化を踏まえ、県、市町村、企業、NPO、大学など多様な主体が、おこやま創生の実現に向け総力を挙げて取り組んでいく必要

厚生労働大臣表彰
藤原氏受賞される

平成28年度の厚生労働大臣表彰が、昨年の12月6日に厚生労働省で行われ、連合会関係で、藤原智之氏(岡山県身体障害者福祉連合会副会長・倉敷市)が更生援護功労者表彰を受賞されました。

今年も私たちに乗り越えるべき課題が数多くあります。皆様からの積極的なご提案をお待ちしております。

最後にになりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

誠におめでとうございます。健康にご留意され、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。



厚生労働大臣表彰を受賞して

表彰式当日、受賞者を代表して謝辞を述べさせていただきました。式典が始まるまで

進捗プロジェクト」を掲げています。皆さまから寄せられた信頼とご期待にお応えするため、新プランを策定した上で、この新たな羅針盤に沿って、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現に

歩きづらい、足が痛い・・・
靴でお困りありませんか。
靴工房 GRATO グラート
〒710-0834 倉敷市笹沖515番地1
フォーレスト恵通1F
TEL. 086-476-7725

公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会 会員団体

- 倉敷市身体障害者福祉協会連合会
- 津山市身体障害者福祉協会
- (一財)玉野市身体障害者福祉連合会
- 井原市身体障害者福祉連合会
- 総社市身体障害者福祉協会
- 高梁市身体障害者福祉協会
- 新見市身体障害者福祉協会
- 備前市身体障害者福祉協会
- 瀬戸内市身体障害者福祉協会
- 赤磐市身体障害者福祉協会
- 真庭市身体障害者福祉協会
- 美作市身体障害者福祉協会
- 岡山県身体障害者福祉浅口連合会
- 和気町身体障害者福祉協会
- 早島町身体障害者福祉協会
- 矢掛町身体障害者福祉協会
- 新庄村身体障害者福祉協会
- 鏡野町身体障害者福祉協会
- 勝央町身体障害者福祉協会
- 奈義町身体障害者福祉協会
- 西粟倉村身体障害者福祉協会
- 久米郡身体障害者福祉協会
- 吉備中央町身体障害者福祉協会
- (社福) 岡山県視覚障害者福祉協会
- (公社) 岡山県聴覚障害者福祉協会
- (公社) 岡山県難聴者協会
- (公社) 日本オストミー協会岡山県支部
- 新声会
- (NPO) 岡山県腎臓病協議会
- 岡山盲ろう者友の会

新年
おめでとうございます。
おめでとございます。

平成28年度岡山県身体障害者相談員研修会を開く

平成28年度岡山県身体障害者相談員研修会(主催・岡山県、(公財)岡山県身体障害者福祉連合会、岡山県身体障害者相談員協議会)が、平成28年11月1日(火)にきらめきプラザ(岡山市北区)において県下の身体障害者相談員、行政関係者など約150人が参加して開催されました。

藤田勉岡山県身体障害者福祉連合会長、竹田人士岡山県保健福祉部障害福祉課長の開会あいさつの後、研修講義に移りました。

まず、県障害福祉課障害福祉企画班の吉田郁夫総括参事から「障害者差別解消法とあいさつ運動について」と題して、あいさつ運動の重要性を兼ねて行政説明がありました。多様な障害の特性の理解に努め、障害のある人が困っているときに「ちよつとした手助け」を行う「あいさつ運動」を広げることに、障害者差別解消法における合理的配慮への理解にもつながる、と説明を受けました。

続いて、県備前保健所保健課の河合晶子主幹から「健康な生活習慣を継続するための工夫」と題して、脳卒中・心疾患の発症危険性が増大するメタボリックシンドロームを予防・改善するため、日常生活において注意するいくつかのポイントを椅子に座ったまま行える簡単な運動を取り入れながら話していただきました。

引き続き、「倉敷市における相談員活動について」として藤原智之岡山県身体障害者相談員協議会長と、「真庭市における障害者団体の活動を通じて」として宮川幸男岡山県身体障害者福祉連合会副会長のお二人から講演をいただきました。藤原さんは、地域の人に障害者に対する理解を深めてもらうことが大切であること、他の相談員活動と連携することによってどんな相談でも解決の糸口が見つかることを、どんな相談も断らないことをモットーとしている、と長年の相談員活動を生かした経験が話されました。

宮川さんからは、障害者の健康づくりのためのスポーツ大会や



自画像 矢掛町 古城敏雄

趣味を発表する場としての作品展の開催、車いすウォークと称する公共施設の点検活動、障害者のための健康体操の考案・普及など、様々な取り組みを真庭市の身体障害者福祉協会や自立支援協議会と連携して取り組んでいる旨の紹介がありました。

参加した身体障害者相談員の皆さんは、今後の相談員活動の参考にしよう、と、メモを取ったり話にうなずくなど熱心に研修を受けていました。また、当日の参加者には、あいさつ運動研修を修了したということで「あいさつ運動」の活躍も期待されています。



自民党県議団へ陳情

昨年11月14日(月)に県議会委員会室において、環境文化保健福祉委員会の市村仁委員長をはじめとする5名の自民党県会議員に対し、平成29年度岡山県予算編成に係る要望を行いました。

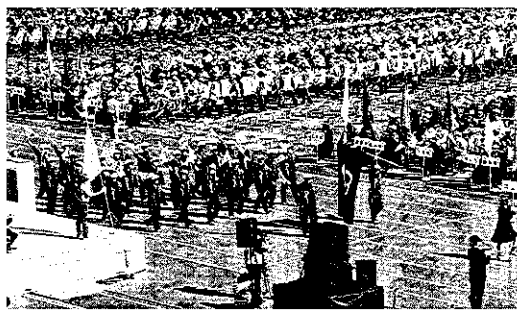
全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」開催される

第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」が、昨年10月22日から24日まで、全国から67団体、選手・役員ら約5400人が参加して岩手県で開催されました。開会式は10月22日(土)、岩手県北上市の北上総合運動公園で皇太子さまをお迎えして行われ、24日(月)までの3日間、選手たちは日頃の練習成果を発揮し、競技に挑みました。

この大会は、障害者の自立と社会参加を促進することを目的に「広げよう 感謝。」をスローガンに、また、「東日本大震災復興の架け橋」を合言葉に復興のシンボルとなる大会を目指して開催されました。

岡山県選手団は、陸上など個人競技5競技、団体競技2競技に選手47人が出場し、成績は金メダル14個、銀メダル8個、銅メダル9個で計31個のメダルを獲得しました。岡山市選手団も、個人競技5競技に18人が出場し、成績は金メダル11個、銀メダル10個、銅メダル5個で計26個のメダルを獲得しました。また、団体競技では、ソフトボールは3位、車いすバスケットボールは残念ながら初戦敗退の結果でした。

全競技終了後、北上総合運動公園で閉会式があり、来年の開催地、愛媛県に大会旗が引き継がれ、3日間にわたる障害者スポーツの祭典の幕を閉じました。



各障害団体からの陳情書を提出し、当連合会の藤田会長が挨拶を述べ、続いて出席した団体からそれぞれ陳情内容の説明を行いました。

当連合会は障害者差別解消法の制定など、県腎臓病協議会は医療費公費負担制度の改善、県聴覚障害者福祉協会は手話言語条例の制定など、県難聴者協会はテレビ政見放送への字幕付与、岡山盲ろう者友の会は盲ろう者向け通訳・介助員の改善など、日本オーストミー協会県支部は社会適応訓練事業費の増額についてそれぞれ要望を行い、また議員からの質問に回答して陳情を終えました。

あいさつポルトフェスタ2016

障害者週間(12月3日~9日)に合わせ、県内の福祉施設利用者やボランティアが作った手芸品や商品などを販売する「あいさつポルトフェスタ」が平成28年12月5日、6日、岡山市北区のイオンモール岡山で開催されました。これは、障害のある人の社会参加を促進する目的として開催された障害者差別解消法の啓発やあいさつ運動の推進等を通じて障害者への県民の関心と理解を深めることを目的としています。

会場では、皿やコップやカップなどの陶芸品やインクシンの皮を使った革製品、葉牡丹やシクラメンなど植木、パンやクッキー、こんにやくやジャムなどの加工食品など県内産品が並び、賑わっていました。

33事業所で作られた約300品目が並べられ、来場者が次々と購入していました。

会場ステージでは、介助犬の啓発イベントとして社会福祉法人日本介助犬協会のPR犬キャロルのデモンストレーションがありました。スタッフの指示でキャロルがスタッフの靴や靴下を脱がせたり、冷蔵庫を開けて中の飲料を取り出し、タッパに渡すと、会場からは称賛の拍手が起きました。

トフェスタ2016



会場では、皿やコップやカップなどの陶芸品やインクシンの皮を使った革製品、葉牡丹やシクラメンなど植木、パンやクッキー、こんにやくやジャムなどの加工食品など県内産品が並び、賑わっていました。

障害者ふれ愛のつどいを開く

当連合会の主催で昨年11月6日(日)、第10回障害者ふれ愛のつどいが岡山市北区のピュアリテイまぎびで開かれました。

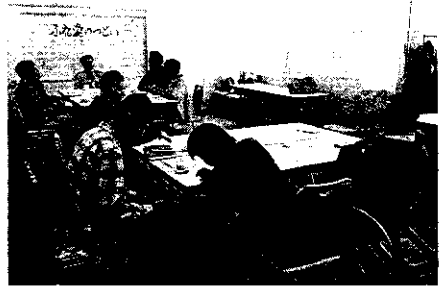
つどいには男女8人が参加し、11時半に井上事務局長のあいさつで始まり、それぞれ自己紹介を行いました。昼食を取った後、レクリエーション協会の南波紀子さんを講師にお迎えしてレクリエー

こつていました。介助犬は11月1日現在、全国で73頭が実働しています。岡山県では本年3月介助犬第1号が誕生する予定です。

「大切なお知らせ」封筒に点字シール

平成28年4月に施行された障害者差別解消法で公的機関に義務付けられた障害者に対する「合理的配慮」の一環として、県障害福祉課では、点字で「大切なお知らせ」と表したシールを封筒に貼って発送する取り組みを始めました。

封筒に貼るシール(縦2センチ、横6.5センチ)は赤地に、点字と白文字で「県からの大切なお知らせ」と表記しています。県障害福祉課では今後、配布先を増やしていく方針です。



かも川手延素麺好評販売中

10月からの冬期取次販売の期間を、ご好評につき1月末まで延長させていただくこととしました。まだまだ寒い冬が続きます。熱々の手延べうどんを食べて心も体も温まってみてはいかがでしょうか。ご注文をお待ちしております。

お問い合わせ先 / (公財)岡山県身体障害者福祉連合会 TEL 086-223-4562

1月の歳時記

- 1日 元日
- 4日 御用始め
- 5日 小寒
- 7日 春の七草
- 9日 成人の日
- 11日 鏡開き
- 20日 大寒

